



# 根 窓

2017  
(平成29年)  
10月1日

発行 新島学園同窓会 立見賢治  
住所 〒379-0116  
群馬県安中市安中 3702  
TEL 027-382-4073  
FAX 027-382-4093

同窓生の皆様は初めてのご挨拶をさせていただきます。私、今年度5月に開催されました同窓会理事・評議員(総会)におきまして中島信男同窓会長の後任として承認いただきました20期の立見賢治と申します。これまで同窓会組織の発展、充実に多大なご貢献をされてこられた中島会長の後を、諸先輩を差し置き、私のような浅学非才な者がお引き受けることは甚だ僣越かと気後れする思いで一杯ではありますが、選任していただいた以上精一杯任を全うしていきたいと思っております。同窓生の皆様の温かいご指導、ご支援をよろしく願います。

さて、本年度学園はすでにご案内の通り創立70周年を迎えます。記念の年度に当たり、これまで湯浅康毅理事長のリーダーシップのもと「種を蒔く」をスローガンとして各種プロジェクトを実施中です。同窓会本部といたしましては側面支援という形をとっておりますが、一つだけ主体事業といたしまして、同窓会報「根窓」を創立記念特別号として作成し、すべての同窓生の皆様に郵送させていただきますことといたしました。久し振りの郵送ですので学園新聞最新号も同封させていただき予定ですので楽しんでいただきたいと思います。また、これまで同窓会ホームページ上にアッ



ごあいさつ

新島学園同窓会  
会長 立見賢治



プさせていただいている「根窓」のバックナンバーもこの機会にアクセスしていただき、ご覧いただければ幸いです。

改めて在学時代を振り返りますと、私たち20期生は中学3年間創立以来男子校として運営されてきた学園で育ち、高校入学と同時に共学化となったという学校の大きな転換期に遭遇した学年でした。制服の規定もなく自由な校風といっても、男だらけのパンカラな息吹に晒された中学3年間から、突然女子生徒を迎えることとなり他学年の羨望のまなざしを背に、少数派の女子にどう接してよいか戸惑いながら余所行きの顔をして生活した高校3年間だったような気がします。

それから早50年、年々女子生徒が増加し近年はその数は逆転していると感じます。在学中、強く感じた女子の影響力の強さを思い出すにつけ、これからの同窓会活動に女子会員の皆様の存在は極めて重要だと考えます。残念ながら現在の本部役員構成メンバーもまだまだ男性役員

が中心であります。これからは今まで以上に機会あることに女子会員の皆様への働きかけを心掛け、女性目線の意見を数多く集約することで、現状の母校へ、より適切な後援活動を実践していけるよう努力してまいりたいと考えています。同窓生の皆様の熱いご協力を心よりお願い申し上げます。

## 役員紹介



会長 立見賢治  
20期 高崎市



副会長 高校担当責任者 静 朋人  
32期 安中市



広報委員長 山田 恵一  
37期 安中市



広報委員 田中美香  
29期 安中市



広報委員 大野 晋吾  
34期 富岡市



新島学園同窓会  
前会長 中島 信男

## 退任のご挨拶

同窓会長として2期4年間でつとめさせていただきました。この間、本部役員の方々や会員の皆様から多大なるご支援・ご

協力を頂きましたことに対しまして衷心より感謝と御礼を申し上げます。無事に退任の日を迎えることができたのも、神様のお導きによるものと感謝しております。

創立70周年を迎えた今年度からは、立見賢治新会長をリーダーとする新体制で同窓会の運営がなされていきますが、これまでも増して皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

## 広報委員会



副会長 短大担当責任者 山田 中久  
26期 安中市



広報委員 横山 慶一  
38期 富岡市



広報委員 高橋 司  
42期 下仁田町



広報委員 前田 美佐  
43期 高崎市

## 文教委員会



文教委員長 湯本 直也  
28期 前橋市



文教委員 佐藤 光昭  
20期 安中市



親睦委員長 荻原 昌弘  
45期 安中市



親睦委員 吉沢 尚志  
26期 前橋市



親睦委員 白田 周一  
30期 桐生市



文教委員 武者 利通  
20期 安中市



文教委員 小林 栄郎  
25期 高崎市



親睦委員 小森谷 剛  
37期 高崎市

事務局  
星野 伸樹 (32期)

事務局長  
佐俣 幹夫 (28期)

沖田 恭子 (28期)

田中 徹浩 (45期)

中村 圭介 (49期)

小野 寺恵介 (57期)

内田 慎也

# 2017年度 新島学園同窓会総会に参加して

新島学園同窓会

副会長 山田中久  
(26期)



この度、新島学園同窓会本部役員にお仲間入りさせて頂いたばかりになりまして、26期生の山田中久と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

思い出せば、卒業して40数年になります。中高6年間の学園生活を謳歌し、いつかはお世話になった母校に恩返しをしなければと願っていました。ようやくその思いにたどり着くことができました。学園発展のために少しでもお役にたてればと微力ではありますが精一杯努めさせて頂きたいと思ひます。

さて、今年度の同窓会総会は、理事・評議員総数565名定数中、参加者91名、意思表示者232名ということで総会成立宣言がなされ、立見新会長の進行により提案された議事の第1号から第5号議案まで慎重審議の上すべて承認され無事終了致しました。その後、各地域並びに各期の同窓会の開催状況の報告があり滞りなく総会は閉会となりました。

引き続き、岩間校長先生からご挨拶の中で、新たな社会に対応した教育の実現に向けて詳細な構想を熱く語っていただきました。また、「夢の実現に向けて、自ら学び、考え、行動する人」「豊かな人間性と高い倫理を持った、他人を思いやる人」「広い視野

を持ち、世界を友とするコミュニケーション力を備えた人」を目指し、「全ては、生徒の成長のために」の合い言葉に、教師と学園が一丸となって「社会に必要とされる人物」の育成に注がれる一途な教育に胸が熱くなる一瞬でした。

また、今回の総会はディア・フィオーレ・マリエール高崎での開催となり、アルコールも入り盛り上がった懇親会となりました。

開会にあたり、立見新会長からご挨拶をいただき、続いて、来賓代表の湯浅康毅理事長より、「創立70年の学園の伝統を守り種を蒔く等」を含めご挨拶をいただき、今年度より新任教員の62期生の白井杏奈先生の乾杯で賑やかに懇親会がスタートしました。

期を超えた懐かしい会話や近況報告があちらこちらから聞こえ盛り上がりつつありました。会となり、また、料理も手の込んだ大変美味しく豪華な料理で食べ尽くすことができない程でした。

楽しい時間はあっという間に流れ、前中島会長のリクエストにより「学園といえは...校歌です。」を合図に心のこもった「校歌」「学生歌」を参加者全員で合唱し、良き時代の記憶を蘇らせ、心あたたまる閉会となりました。なお、関係者の皆様に感謝するとともに心より御礼申し上げます。

最後に、次年度はさらに多くの理事・評議員の皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。2017年度新島学園同窓会総会・懇親会の報告とさせていただきます。

# 学園祭を訪ねて Nijima Journey —70周年から未来への旅—

新島学園同窓会

副会長 静 朋人  
(32期)



私の場合は、昨年までPTA会長として学校に直接関わりがありましたので、本年もその延長のような、前回とどこがちがうかな?といった目線で見学をさせて頂きました。まず目に飛び込んでくるのはフェンスの大きく掲げられた70周年のパナーです。新島の関係者である、なにかに関わらず、前を通った人全員にインパクトの大きな告知と



なっています。そしてゲートをくぐる前から長い列が外からわかり、やっと到達した正面玄関では生徒たちが大きな明るい声で「いらっしやいませ!パンフレットをどうぞ!」と出迎えてくれました。やっぱり新島、挨拶が良い。前回にも増して盛況な雰囲気にも増して入場致しました。

まず初めに、設置したばかりの超効率水力発電装置と平面発光体・遠距離到達スピーカーを見学。説明聞くも全て分かりやすい未来の技術の体感であり、理系も強い新島という未来のイメージにぴったりな展示でした。



つづいて、おいしい焼きそばを頬張りながらフイリアホールをのなかに...「同窓会の部屋」の前にメモリアルマガジン製作プロジェクトの展示があり、先日来校した(本当です)布袋さんの写真もバナーと掲示あり。そこでは星野新教頭(同級生です)のご家族とばったり、大変美人な奥様でした。

それと今回は懐かしい当時の学生生活を思い出してもらいたいという事で、退職された先生方が時間によってお会いできるプログラムになっておりました。これはいい企画でした。次回もぜひお願いします。

外にでてみるとエコランレーズエントリー中のスバルビデオと新エントリーのスズキアルトの雄姿があり、新島のイメージリーダーたる立派なものでした。(インスタでも新情報確認できます) つづきましては、あの新教務棟!訪問。未来の職員室ってこんなもの、てぐらいい素晴らしい。室内に生徒と先生が談話できるスペースあり。繰り返しますが職員室のなかにです。つづいて前回まで運営に携わっていたP



TAの部屋に。入学希望の父兄の受け入れや校内パトロールを今年も忙しく実施されておりました。お疲れ様です。 近い将来にやってくる子供たちの人口激減に備え、相変わらず素晴らしい明るい新島と新しい取り組みに着々と取り組んでいる新島という両側面がはつきりと体感できる、やっぱり素晴らしい新島学園の学園祭でした。 後日の岩間校長先生談によれば前回は上回る来校人数(約5000人)とのことでした。



# 70周年を迎える 全ての新島学園ファミリー 「根篋」の皆やまへ



学校法人新島学園  
理事長 湯浅康毅

この度は2017年度新島学園中学校・高等学校同窓会会報「根篋」発刊おめでとうございます。

同窓会の皆様には日頃、新島学園へのご支援・ご協力を賜り、また昨年より取り組んでおります創立70周年記念事業へのご理解・応援を頂戴致しまして心から御礼申し上げます。

同窓会の皆様のご協力により毎年信頼と実績を重ね、今年も多くの入学者に恵まれ、新たな伝統を築きつつあります。今年本学は大きな時間軸の中にあつて大変意義深い節目の時である創立70周年を迎えております。

新島学園という名の私立学校は世界中探しても他にどこにもない、唯一我らの新島学園のみであります。

ご承知の通り、新島学園の名前の由来は新島襄です。明治6大教育者と知られ、京都・同志社の創立者であり、本学の建学の精神の基である新島襄は新島学園の起源にかかわる全ての始まりを象徴する存在です。

約140年前の明治7年11月28日に新島襄が上州安中の地に帰郷し、日本で初めてキリスト教会衆派の福音の種が蒔かれ、以来世代を超えつつもその種が大切に育まれ続けた結果、新島学園は昭和22年に誕生しました。

改めて前・中島会長様及び立見新会長はじめ役員の皆様のご尽力に心から感謝するとともに、今回の皆様方のお気持ちに接し、ある新島襄の言葉を思い出した次第です。

さて、母校・新島学園中学校・高等学校も教職員、保護者、

意味と意義と使命を持つております。

学校も歴史を重ね、今では創成期に卒業された同窓生の3代目の方々が入学されている状況下で、これまで学校という学び舎が学び舎たる存在となるための良質な時と同時に試練の時を与えられてきました。

その時その時、それぞれの立場を担う者がそれぞれの境遇に置いて出来る範囲で、目に見える、目に見えない働きで支え合い、本学ならではの歴史・文化を積み重ね守つてきて頂いております。

今回の同窓会会報「根篋（印刷版）」の復活は、これまで以上の負担をかけていただきながらも、より多くの同窓生の皆さんと母校が永続的に繋がりを、共に歩みつつ更に盛り立てていくという気概を具現化した象徴的な出来事であり、これはまさに本学の建学の精神である新島襄の心そのものであるとともに、皆見えない力によって束ねられていると確信した次第です。

新島襄は明治15年7月15日に八重夫人と一緒に原市教会に来て『地方教育論』について講演をします。この中で日本の教育は中央主義で、本物の教育を行うには地方が望ましい、地方の人材は地方が育てる、どのような生業でも良いが、もしその地方に危機が訪れたらみんなで一致団結して乗り越える、このような教を残されています。

今回の同窓会の皆さんのお働きはまさにこの『地方教育論』の教えを新島学園中学校・高等学校の伝統という空気を作りながら、その精神を自然と培われてきた証拠なのだと思います。そして改めて我々は新島襄の精神で大きく束ねられていると感謝した次第であります。

今後70周年記念事業を総括す

る上で、10のプロジェクトの一つとして、11月28日(火)よりクリスマスまでの約3週間「創める：新島学園創立70周年記念フェア」を開催させていただきます。

この約3週間の意味というのは数多く含んでおり、それぞれが直接的・間接的に繋がっています。これは新島襄が明治7年11月28日に帰郷し、翌月の12月24日まで故郷である上州安中に滞在していた期間であり、国内で初めてキリスト教会衆派の種が蒔かれた象徴的な時でもあります。この時と見事に一致します。

このような大切な意味を多く含む約3週間の記念フェア期間中の代表的な取り組みとして、11月28日(火)に行う70周年記念礼拝では世界的な建築家であり、世界中の教育施設、教会等を手掛けておられる手塚貴晴氏をお招きし、未来の学び舎の在り方について大切なメッセージをいただく予定です。

また12月2日には創立70周年記念式典を行い、記念講演の講師として、慶應義塾大学の中室牧子教授をお招きし、未来の教育の在り方についてお話しいただく予定です。そして、新島学園の10年後のビジョンを示す「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027」をリリースし、新たなステージを迎える新島学園の今後の進む方向性をお示します。

勿論クリスマス関連事業及びプロジェクトにつきましても、新しい取り組みにチャレンジしてまいりますので今後の展開に是非ご期待いただけたらと思います。

我々はこの大きな時間軸の中

にあつて、大変重要な節目の時を迎えております。我々はこの時を新島学園の新しいステージの始まりと位置付けています。この中で大切にしたい心構えとは、これからは本学だけで未来を考えるのではなく、共に歩む新島ファミリーである同窓会の皆さんと一緒に未来の新島学園づくりを行っていきたく願っております。

社会を豊かにしていくことが出来るのか、貢献していくことが出来るのかが問われる時であることも同時に認識しています。今回の創立70周年記念事業の如く、種を蒔く取り組みを行っていただき、新たな伝統づくりへと繋がるような芽を共に歩む皆さんと育てていきたいと願っております。そして芽が出るための土づくりも同時に行ってきたいと考えています。

**株式会社 上毛テクニカル**  
代表取締役 山口 淳 (40期)  
〒379-0124 安中市鷲宮883-1  
☎ 027-388-8008  
FAX 027-388-8009

## 創立70周年を迎え 新島襄の原点に立ち返り、新たな 行動指針で臨む



新島学園  
中学校・高等学校 校長  
岩間秀彬

今年新島学園創立70周年を迎え、一つの節目の年として、新島学園の創立の原点を見つめ直すと共に、次の70年、100年に向けて英知を結集し、不退换の覚悟で果敢な前進をする時です。

奇しくも、2年ごとに開催する学園祭とも重なり、学園便り7月号の巻頭言にも記しましたが、生徒の掲げたスローガンも「Nijima Journey 70周年から未来への旅」と、生徒達が未来に向けて、それぞれの旅に夢を描いていることが見取れます。

約140年前に、新島襄が米国から安中に帰って来られて、安中の地で蒔かれた種が地中で深く根を張り、新島襄のキリスト教精神に基づく教育の志を受

け継いだ人々によって培われ、70年後、1947年に新島学園としてその芽を出し、今日まで、多くの方々の手を経て、その志が私達の学び舎に通う者の心の中に育まれながら、新島学園は70周年を迎えました。

「不易流行」とありますように、「不易」の部分、キリスト教精神に基づく新島襄の教育の心であり、それが、教育5原則に示され、この教育5原則は、70年経った変化の激しい今の時代でも、常に新しく息づいている言葉です。

創立70周年にあたり、私達の教育の原点である新島襄に戻ってみたいと思います。私はクリスチャンですから、聖書のみ言葉を熟読し、み言葉に生きようと努めてまいります。新島襄

**株式会社 高崎松風園**  
代表取締役社長 山口 俊輔 (43期)  
〒370-0024 高崎市八幡原町455  
☎ 027-347-2818  
FAX 027-347-3627  
http://takasakishofuen.co.jp/

**株式会社 マエコムクロス**  
代表取締役 前田 誠 (42期)  
〒371-0825 前橋市大利根町1-12-6  
☎ 027-251-7663  
FAX 027-251-7964  
http://www.maecom.co.jp/

**大久保動物病院**  
代表取締役 大久保文葉 (40期)  
齋田 深和 (43期)  
〒370-0801 高崎市上並榎町357-9  
☎ 027-361-2077  
http://okubo-ah.com/

の言行録等から見る彼の生き様は、まさに、聖書のみ言葉を生きた人、み言葉を具現化した人といえます。

彼は、キリストに対する信仰告白をこう言っております：「十字架の上のキリストに目を向けよう。彼が私達の模範である。ああ、キリストは何と高貴で、何と偉大で、何と恵み深く見えることか。私達も自己を知れ、真と善の大義のために、自分を惜しげなく差し出そう。また真に悔い改め、謙虚になろう。私は、これを人の偉大さと呼びたい。」

この告白の中に、人が目指すべき最終の姿が明確に表され、このような人物像を目指して人格教育することが、新島学園が目指す教育の原点だと思えます。

私の新島学園との出会いは、同時に、私にとっては、新島裏との出会いでもありました。新島裏は、1843年に生まれまうど100年後の1943年に生まれています。

新島裏にとって、10年の米国の勉学は、大きな試練であり、また、世界に視点を向けた人格形成期でもありました。比較することは恐ろしいことですが、奇しくも、私もコニカ米子会社社長としての10年間が、試練の中で忍耐を学び、グローバルな感覚を養う時期でした。

私なりに学んだ新島裏の日記や八重さんとの書簡に見る言葉の数々には、聖書のところが充滿していました。私の心をとらえ、「その通りですね」と深く感じ入った幾つかの言葉を敢えて掲載させていただきます。

\*「与えられるより、与えることが幸せに繋がる」

\*「人生の幸せは自分のみが幸福になろうとすることではありませぬ。高い地位を得たり

巨万の富を得たりすることでもありません。自分の歩む道の中で、他の人々の役に立つことが幸せに繋がるのです。」

\*「自分が他人からしてもらいたいと思うすべてのことを、あなたから他の人にしてみてあげてください」

また、新島裏は、「人間の偉大さは学識だけでなく、私心のなさに現れる」と言いました。特に教育に関わる者にとって、「私心を持たない」ことの戒めは、大切にしたいと思えます。

教育に関して、新島裏は「知育」(知識詰め込み)偏重の弊害に早くから気づいていました。魂や心の領域での育成や訓練を怠ると、「知育」はかえって利己的な人間を作るきらいがあること。徳を欠いた研ぎ澄まされた知性は、「鋭利なナイフ」と同じで、自分や他人を滅ぼす危険極まりないものであるとの認識が新島裏にはありました。

企業でも、自分の能力や切れ味の良さを振り回して、周りの同僚や部下を傷つけながら、成果を上げて得意になっていた人がたくさんおりました。

しかし、人生には、かならずアップアンドダウンがつきものですから、この様な者は、ダウンした時には、誰も助けてくれず、再起不能になる例を沢山見てきております。

このことは、私が校長として、生徒を育成していくにあたり、常に心しておきたいことのひとつです。

新島裏の標榜する「良心の充滿した」とは、いまさら言うまでもありませんが、他者に奉仕するために私欲を抑える人格をいうと、述べられています。まさに、キリスト教の精神を具現化した生き方として心に響きます。このような、新島裏の生き様

と教えは、私がクリスチャンとして目指している生き方の具現化であり、校長として、新島裏の示された道筋を辿り、それを教育に生かしていくことに、喜びと確信を与えてくれるものです。

この様な新島裏の教育の心を「不易」の根幹として、未来を展望し、世界の変化、日本社会の変化に適應して、たくましく生き抜く人材育成が、これから新島学園に望まれています。

その為には、教職員である私達が、どのような姿勢でこれからの新島学園の教育に関わっていくかにかかっています。

今年度最初の教職員会議で、私は、教員の成長が生徒の成長、学校の成長・発展の鍵と信じて、次の「7つの行動指針」を教職員と共有化することを、話しました。

教育の現場、特に私立学校においては、公立のような学校を変わる人事異動がないことで、伝統の継承が保たれ、私立のユニークさが、益々磨かれるという利点がありますが、一方、世の中の変化に疎くなり、過去の慣習に順じてやることに安心感

を覚え、事なかれ主義に陥りやすくなる懸念も内在しています。新しい提案があると、それに乗ってさらに良い提案を生み出す姿勢よりも、その提案にはこれだけの問題が考えられると、指摘するだけに終わってしまうこともあります。新しい提案を、70点でも先ず「Go」させ、問題点は走りながら改善していくやり方を推進することには、多くの者が、リスクがありすぎると反対します。誰かが、万一の時、責任を取らねば進みません。全てにおいて責任は、校長が取ることを明示しておくことが必要です。また、内向きにばかり敏感なセンサーを張り巡らせていると、外の大きな変化に取り残されて、大きく変化していく世界へ子供たちを送り出すとき、適切な進路指導が出来なくなり

ます。この様なことは当たり前のことですが、頭でわかることと行動に起こすこととは違いますが、決意をもって行動を開始し、日頃の行動姿勢として定着させて初めて機能し、学園の未来創造へと繋がって行くものと信じています。

今後10年で、群馬県の高校入

### 新島学園中学・高校教職員の「7つの行動指針」

1. 「欠点探し・問題指摘型」から「良いところ探し・解決提案型」へ
2. 「100点まで待つ」から「70点でGo」へ
3. 「不平・不満」の気持を「感謝・笑顔」の心へ
4. 「ルールを守らせる」教育から「自主自立」の育成へ
5. 「怒る：褒める=7：3」から「褒める：叱る=7：3」へ
6. 「内部に敏感な」小型センサーを「外部変化に敏感な」大型アンテナへ
7. 「挨拶」「整理整頓」「清掃」を基本に、教師が模範を示す学園へ

学人口が15%以上減少することが統計上分かっている中で、新島学園が生き残りをかけて、新島裏の教育の心を根幹として堅持し、大きな世の変化に対しては、ここで掲げた「7つの行動指針」で臨み、「すべては生徒の成長のために」を合言葉に、真の意味の全国レベルで「ユニークな新島学園」を創造し続けて

#### 寄稿文

## ビックリ 帆船三姉妹

淡路博和(2期)

いくことを、教職員と共に心に誓い、次の聖書の言葉を持って終わります。

「そればかりでなく、苦難をも誇りとしませぬ。わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。」(ローマ書5章3、4節)



2016年10月11日の夜9時、突然、我が家の電話がリリリンと鳴り響きました。今頃、一体誰だろう、と思つて受話器を耳に当てると、

「安中に来ています！」  
幾分興奮気味な女性の声：「えっ、どなたですか？」  
「大阪の奥野です」

これにはビックリ！、大阪の奥野さんとは、実は「奥野帆船工芸」の奥様のこと。ご夫妻で車を飛ばし、先ほど安中杉並木の「ルートイン」に到着したというのです。緑あつて数回の文通はありましたが、お会いするのは初めて。これは大変！放つて置くわけにはいけません。「明朝9時にお迎えに行きますから」と約束して受話器を置きました。

**株式会社 吉田鉄工所**  
代表取締役 吉田 勝彦 (12期)  
〒371-0815 前橋市下佐鳥町1001-1  
☎ 027-261-4111  
FAX 027-263-3610  
http://www.techroad.co.jp

**有限会社 八百万商店**  
荻原 守 (10期)  
荻原 昌弘 (45期)  
〒379-0116 安中市安中3-16-1  
☎ 027-381-0278  
FAX 027-381-4182

**佐藤病院**  
理事長 佐藤 仁 (5期)  
〒370-0836 高崎市若松町96  
☎ 027-322-2243  
FAX 027-322-8248  
http://www.sato-hospital.gr.jp/

**医療法人明光会 やなぎさわ整形外科**  
理事長 柳澤 一光 (5期)  
〒370-1207 高崎市綿貫町318  
☎ 027-346-7131  
http://www.yanagisawa-o.byoinnavi.jp/pc/

型とは、次の写真の如きもので、青年新島七五三太が、①家族と別れて江戸を立ち、②大志を抱いて函館から脱出、③中国上海を経てアメリカ合衆国まで乗船した3種類の船のことです。



奥野氏から岩間校長へ

えーっ！これには2度ビックリ、とんでもない！、こんな立派なものを受け取るなんて…。私はとっさに、「こんな立派なものを私にたいては宝の持ち腐れ。どうでしょう。これから御案内する新島学園に差し上げてもらえませんか」

「それは淡路さんのご判断に任せます。これは淡路さんに差し上げる物ですから…」

というわけで、杉並木・新島家旧宅・有田屋・安中の町並・武家屋敷・安中教会等を見ながら新島学園に到着…。朝方、電話で奥野様御来訪の連絡をしていただいたので、応接室には校長岩間秀彬先生と事務長小林郁夫氏が待っておられました。

そこで、奥野氏御自身から岩間校長へと手渡され、大阪から遙々やってくる三艘の帆船模型が、無事に新島学園へと入港することになったのです。

なお、冒頭の写真は、学園の玄関で模型の3帆船をバックに撮った記念写真です。中央の二人が奥野様ご夫妻です。



③上海からボストンまで  
ワイルドローバー号  
長さ57m



②函館から上海まで  
ベルリン号 長さ38m



①江戸から函館まで  
快風丸 長さ36m

写真のガラスケース入りの模型は、既に学園が同志社を通して購入していたワイルドローバー号で、これも奥野氏の作品です。今回学園に寄贈していただいたのは、快風丸とベルリン号の二艘で、合せてここに3艘の帆船模型が見事に揃ったわけでありです。

礼拝堂など学園内の見学を済ませたご夫妻を、試みに学園南方の田圃にご案内してみました。秋空の下、稲穂が揺れる遙か彼方に、赤城・榛名・妙義の上毛三山が見え、西には高く浅間山が輝いておりました。

「わあー素晴らしい。癒やされるわ！」と奥様の歓声。

それから磯部温泉見学、原市にてお蕎麦の昼食、午後一時に安中教会へ。

教会では真下とし子先生が待っておられて、教会内を案内してくださいました。私は私用があつて仕方なく、富岡製糸場への道案内図を差し上げてお別れ致しました。

その後、ご夫妻は製糸場を見学してから西に向かい、上田城など見学しながら大阪への帰途に付かれたとのことです。

抑も、この奥野様ご夫妻とは、2012年9月に編纂発行した「夢故園花」(新島学園所蔵資料紹介誌)の第11号に、帆船模型製作中のご夫妻の写真を紹介したのが奇縁となり、その後、数回の文通で知り合いになった間柄でした。

「是非、新島裏先生ゆかりの地安中へお越しください」とお勧めしておりましたが、今回の突然のご来安、びっくりするやら嬉しいやら…。こうして初対面とは思えない貴重な巡り会いとなり、その上、素晴らしいプレゼントをいただき、感謝の思いでいっぱいです。

帆船三姉妹は、やがて新島学園の正面玄関に揃って展示され、学園創立70周年の良き記念として、新島先生を偲びつつ、「世界

を友とする心」を養ってくださることでしょう。

帆船の三姉妹が睦まじく  
新島偲んで学園に並ぶ

2016～2017年度  
各地区根笹会

東京  
新島教育70年の社会からの評価は？  
東京根笹会総会 懇親会

2017年7月7日(金)  
有楽町電気ビル  
日本外国特派員協会  
参加人数 1300名

東京根笹会 会長  
松本 政之(9期)

今年も、120名を超える会員の参加で、理事長始め学校経営にたずさわる方々、同窓会長はじめ地域の会長の方々を来賓としてお迎えして開催することができました。

当会は通信費として5年分3000円を会員から納めて頂いており、昨年度は275名が納入してくれました。

これを原資として800名の会員に総会のお知らせをしておりますが、28期以降500名分は費用の制約上、連絡を出せませんでした。来年度から電子メールによる連絡網の構築を試行して行きます。様々な障害がありますが、何とか解決をして実現したいと思っております。まだ部分的にしか連絡の取れていない28期以降の東京、神奈川、千葉、埼玉、在住の皆さん、その節はご協力おねがいします。

理事長のご挨拶にありました様に、70周年の様々な企画が進んでいるようですが、その中の

一つに大変重要な、長期計画の検討がありました。そのスタートラインに、新島70年間の教育は、地域社会、日本にどんな影響を及ぼしたのか、次の70年で何が期待できるのか？これが最も重要な事と思えるからです。

学園創立時の趣意書や第1回の入学式の江川校長挨拶の中に、願わくば、我らのこの事業が、天意により、その祝福のもとに、成長発展し、ここより後日、農村を指導し、或いは、商工業を起し、或いは教育に携わり、法律を司り、或いは宗教、学術に身を投じ、或いは、遠く海外貿易に携わるもの生まれ出でんことを、願わくば、生徒諸君が大志を抱かれんことを、良心を手腕に運用する人物が多く起こり来て、祖国日本を再興し、東洋を興さんことを、

【参考】  
奥野帆船工芸  
〒571-0015  
大阪府門真市三ツ島1-34-17  
☎072-882-5236

**フォーチュンコンサルティング**  
(舞って 語る 税理士)

税理士 小林 謙二 (15期)

〒102-0084 東京都千代田区二番町1 番町ハイム 738  
☎ 03-3262-0064  
FAX 03-3262-0234  
<http://www.tknf.com/fortune-consulting/>

**株式会社 糸 庄**

取締役社長 松本 修平 (14期)  
取締役副社長 松本 謙二 (16期)  
常務取締役 松本久美子 (45期)

〒370-0006 高崎市問屋町3-10-2  
☎ 027-364-3111  
FAX 027-362-6994  
<http://www.viento-takasaki.or.jp/company/itoshou/>

**株式会社 ボルテックスセイグン**

代表取締役 武井 宏 (13期)

〒379-0133 安中市原市432  
☎ 027-382-3333  
FAX 027-382-4792  
<http://www.vortex.gr.jp/>

**株式会社 総合電子計算センター**

代表取締役 松本 長光 (12期)

〒370-0807 高崎市歌川町72  
☎ 027-327-1500  
FAX 027-327-0921  
<http://www.sdcc.co.jp/>

**公認会計士・税理士 田島龍一事務所**

田島 龍一 (19期)

〒379-0116 安中市安中2-4-30  
☎ 027-380-5539  
FAX 027-382-6433

**株式会社 研 屋**

代表取締役 清水 一希 (51期)

〒370-0069 高崎市飯塚町805  
☎ 027-361-5095  
<http://www.togiya-kk.co.jp/top/>

**利根電気工事株式会社**

代表取締役 熊木 義隆 (19期)  
倉林 章中 (13期) 富田 雅治 (19期)  
和田 佳人 (21期) 阿久津 洋 (33期)

〒371-0837 前橋市箱田町565-1  
☎ 027-251-2344  
FAX 027-254-1474  
<http://www.tonedenki.co.jp/>

**株式会社 総合PR**

代表取締役 五味 典雄 (17期)

〒371-0846 前橋市元総社町936-4  
☎ 027-253-7100  
FAX 027-253-5900  
<http://www.s-pr.co.jp/>



湯浅理事長ご挨拶

総会の冒頭、御来賓を代表され湯浅康毅理事長様、そして岩間秀彬学校長様のご挨拶をいただきました。

石井事務局長の司会で議事に入り、平成28年度の事業報告・収入支出決算報告と田島龍一監事よりの監査報告がなされ、原案通り承認されました。平成29年度事業計画及び予算案についても同様承認可決されました。遠間副会長の閉会挨拶で無事終了しました。

安中

2017年7月1日(土)  
並木苑  
参加人数 131名

安中根笹会 会長

茂木正毅(9期)

安中根笹会の平成29年度総会が、7月1日(土)並木苑で会員124名、御来賓7名、合計131名のご参加をいただき盛会のなか開催されました。その報告をさせていただきます。

とあります。

この想いは、湯浅正次氏の物心共に荒廃してしまつた日本再興に役立つ人材を育てることも願つて学園を作る、のポリシーに共鳴して、発せられている。

これらの言葉、思想は、高邁で、卒業生にとつては、誇らしく、重いものです。我々は良い教育を受けて、幸運だった、だけでは済まされず、世の中に僅かでも返し続けて行きたいですね。



1期生 山縣英明先生のご講演

総会後に創立70周年記念講演会として、母校の一期生である山縣英明先生より「創生期の新島学園」と題してのご講演をいただきました。

高崎

2016年10月7日(金)  
ディア・フィオーレ・マリエール高崎  
参加人数 100名

高崎根笹会 会長

小林正明(20期)

学園の過去から現在の懐かしい写真を見せていただきながら、私達が知らなかつた色々な事や、ご苦労をいただいた事、懐かしいお話などを熱く語って下さいました。山縣先生のお元気で力のこもつたご講演を聴いていまして、自分達が生徒だった頃のこと、山縣先生の授業を受けていた時の事が思い出され、とても懐かしく、胸が熱くなる素晴らしいご講演でした。先生ありがとうございます。

懇談会は、母校の弦楽団の皆様様の演奏を聴かせていただきました。昨年より一段と上手になった素晴らしい演奏だったと思ひました。ご来賓の立見賢治同窓会長様のご挨拶をいただき、岩田雅明短大長様の乾杯の御発声で懇親会となりました。皆様のお陰で、にぎやかに楽しく盛り上がった懇親会となりました。

閉会は、松本尚武副会長の指揮に合わせて学生歌一番を元気に歌つて、なごり惜しいなか散会となりました。来年も7月第一土曜日に開催されますので、どうぞお出掛けください。

ふと気づけば、私が高崎根笹会の会長に推挙されて今年の10月で丸3年となります。その間、就任前に目指した「連絡網のIT化」にも殆ど手がつかず、無為に過ぎて参りました。また、過日の同窓会総会で同期生(20期)の立見賢治氏が会長にご就任され、満腔の賛意を表すことは言う迄もありません。ただ一方では、我々20期生もそういった役割を担う年齢になつたことに感慨を覚えるを得ません。諸先輩方のご指示にただ従つて、漫然とした日々を過ごして来たのが昨日のように思われます。

翻つて、年齢を大きく越えた今、同窓会のみならず実社会に於いても、そろそろ人生の最終形を視野に入れての毎日に励む時期にさしかかつたと言えます。私と云えば、人生の殆どをへたな金儲けに費やし、おおよそ新島学園で学んだキリスト教精神とは縁遠い人生でありました。このま

までは、天国は到底覚束ず、もし「贖宥状」なるものが復刻販売となれば、コネを使つても真つ先に手に入れたい手合いのひとりでありました。思えば、マルチン・ルターも余計なことをしてくれたものです。

永年の新島学園教職員、同窓生諸氏のご厚情への恩返しのため、敢えて高崎根笹会の会長をお引き受けした次第ですが、今ここに至つては、せめてこれからはただ金のために働くのではなく、多少なりとも新島学園、安中教会のお手伝いをして人生を終えたい、と柄にも無く殊勝な心持ちに陥つて居る今日この頃であります。

前橋

前橋根笹会 会長  
和田 弘(27期)

前橋根笹会は群馬県内初の根笹会として発足以来、20年近い歴史を重ねてまいりました。27期生の私で4代目の会長となります。

総会・懇親会は隔年となっておりますが、本年は開催年として来る10月21日(土曜)18時30分から前橋テルサ12階の「リスランテ チイニヨ」にて開催致します。当日は、多くのご来賓・同窓生・関係先のみならず方とお会いできますことを心よりお待ち申し上げます。

よく「新島学園の同窓生はまとまりが良いね」という話を他校の方から耳にします。また根笹会のような地域別同窓会は、あまりないとも聞きます。たしかに地域ごとに幅の広い年代の同窓生が集まる会は、他校では数少ないように見えます。

しかし前橋をはじめ、県内各地で数多くの根笹会が誕生して、定期的に総会や懇親会などが開催されています。新島学園の同窓生にとつては、身近な会として広がってきたと感じています。

加えて各地の根笹会同士の交流も盛んです。まさに「新島ファミリー」を体現して体感できる会だとも言えそうです。今後とも前橋根笹会に、ご参加、ご支援、ご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

富岡から

2016年11月12日(土)  
ホテルアミューズ富岡  
参加人数 46名

富岡から根笹会 事務局

高橋 司(42期)



第六回 富岡から根笹会 2016年11月12日 ホテルアミューズ富岡

参加いただけましたので、昔話や卒業生の進路について話を聞きに来ていただけます。お気軽にご来場ください。

2016年11月12日(土)「ホテルアミューズ富岡」で6回目となる富岡から根笹会を開催しました。今年もお忙しい中、湯浅理事長をはじめ、学園関係者の皆様にご来賓として出席を賜り、この場をお借りし御礼申し上げます。

さて、昨年は、ウエルカムイベントとして52期卒業生の篠原郁哉様率いる「アプラウスミュージック」の皆さんによるミニコンサートを企画し、生演奏による優雅な時間を皮切りにパーティーがスタートしました。

また、富岡から根笹会の設立からこれまで会長職としてご尽力いただきました寺田侑弘様(7期)が会長職を辞し、新たに湯川嘉昭(31期)に会長職がバトンタッチされました。

興亜福祉タクシー

代表 富澤 勝之 (25期)

〒370-0086 高崎市沖町343

☎ 027-333-3389

FAX 027-344-0477

http://koha-fukushitaxi.com/

原澤税理士事務所

税理士 原澤 春代 (23期)

砂盃多美子 (26期)

砂盃 良樹 (50期)

奥泉 典子 (30期)

〒371-0014 前橋市朝日町3-9-2

☎ 027-224-5982

FAX 027-224-5908

医療法人信愛会 本多病院

病院長 本多 真 (20期)

事務長 武者 利通 (20期)

総務課係長 島田 伸子 (42期)

〒379-0024 安中市鷺宮205-1

☎ 027-382-1255

FAX 027-382-7396

http://www.honda-hospital.jp/

祝 70周年

坂本 賢也 (20期)

〒467-0026

愛知県名古屋市長瑞穂区陽明町1-38-2

☎ 052-602-4700

株式会社 津田商店

代表取締役社長 津田 芳也 (20期)

〒370-0069 高崎市飯塚町425-2

☎ 027-361-5287

FAX 027-363-4094

http://www.tsuda-shouten.co.jp/

レストラン かもしか

岡野 久男 (20期)

〒370-0069 高崎市飯塚町1173-2

☎ 027-363-4080

株式会社 コムテックス

代表取締役社長 小林 正明 (20期)

〒370-0006 高崎市問屋町3-10-1

☎ 027-361-5860

FAX 027-361-9968

http://www.komtex.co.jp/

清水屋

大河原 清一 (20期)

〒377-0103 渋川市伊香保町水沢204

☎ 0279-72-3020

(富岡市富岡245-1)

◎連絡先

会 長 湯川嘉昭 (31期)

☎090-3042-3737

✉ yukawa@soeinet.or.jp

事務局 高橋 司 (42期)

☎090-1550-1394

✉ tsukasa2031@gmail.co.jp

軽井沢

軽井沢根笹会 事務局

大島長寿 (19期)

2013年5月に当時の同窓会会長、松本長光様をはじめ多くの方々のご尽力により新島学園同窓会軽井沢根笹会が誕生致しました。歴史ある万平ホテルにおいて第一回の軽井沢根笹会が初代会長、7期の小山宏さんの下に開催されました。多数の学園関係者の皆様方と共に賑やかな集まりとなりました。ちょうどこの年はNHK大河ドラマで『八重の桜』がオンエア中とあって別の意味での盛り上がりもありました。

2014年の6月には第2回目同ホテルにて開かれました。この年の春には軽井沢根笹会から群馬県の長野原根笹会が枝分かれし、新たに設立の運びとなりました。

軽井沢根笹会とはいえ範囲は広く長野県すべてにわたっており、数年前に一度とは違ってなかなか集まることは難しい事は重々承知しております。ですから案内状を出すことにより新島学園を思い出していただき、共に学んだ友との楽しかった日々を懐かしんでもらえたら、出席することは叶わなくてもいいのかなと考えております。もちろん本音といたしましては一人でも多くの参加をお待ちしております。

今年の4月に第3回目新島長で17期の市村隆幸さんに代わり同じく万平ホテルで開催されました。今後とも軽井沢根笹会をよろしく願いたします。

2016年度 同期会開催状況

27期同期会

2016年6月11日(土)

エテルナ高崎

参加人数 64名

39期同期会

2016年8月13日(土)

メトロポリタン高崎

参加人数 67名



39期同期会

6期同期会

2016年9月1日(木)～2日(金)

錦山荘

参加人数 21名

14期同期会

2016年9月28日(水)～29日(木)

森秋旅館

21期同期会

2016年10月1日(土)

暢神荘

参加人数 24名

5期同期会

2016年10月22日(土)～23日(日)

磯部ガーデン(安中市)

参加人数 32名

24期同期会

2016年11月5日(土)

高崎ワシントンホテル

参加人数 27名

25期同期会

2016年11月5日(土)

並木苑

参加人数 35名

26期同期会

2016年11月5日(土)

高崎ビューホテル

参加人数 33名

34期同期会

2016年11月5日(土)

エテルナ高崎

参加人数 60名

8期同期会

2016年11月17日(木)～18日(金)

妙義グリーンホテル

参加人数 66名

29期同期会

2017年1月3日(火)

高崎ワシントンホテル

参加人数 23名

19期同期会

2017年2月18日(土)

マリエール高崎

参加人数 33名

2017年度 同期会開催状況

2017年4月22日(土)

アルコバノ高閣店

参加人数 81名

9期同期会

2017年6月19日(木)～20日(金)

磯部ガーデン(安中市)

参加人数 15名

6期同期会

2017年9月6日(水)～7日(木)

城ヶ島京急ホテル

参加人数 23名

36期同期会

2017年9月17日(日)

ホテルメトロポリタン高崎

参加人数 70名

15期同期会(予定)

2017年10月21日(土)

ホテルメトロポリタン高崎

参加人数 30名

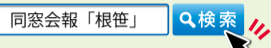
45期同期会(予定)

2017年11月4日(土)

ホテルメトロポリタン高崎

お知らせ

これまでの同窓会報「根笹」のバックナンバーは、同窓会のホームページ (http://www.neesima-dosokai.jp/) からご覧いただけます。



【「根笹」主な寄稿文】

第44号 ◎同窓会報「根笹」タイトル由来 3期生 下城好一郎 ◎新島八重子夫人と安中ご来訪について 2期生 淡路 博和

第45号 ◎新島学園を支える地域同窓生の元気 理事長 大平 良治 ◎新島襄先生の安中来訪について 2期生 淡路 博和

第46号 ◎『就任6ヶ月、そしてこれから』 新島学園 中学校・高等学校校長 岩間 秀彬 ◎新四会(新島学園4期生の会) 『友はわが師 新四会だより～総集編』刊行のご紹介

第47号 ◎新島襄に学ぶ リーダーシップとは? 新島学園 中学校・高等学校校長 岩間 秀彬 ◎湯浅治郎 新島学園の心の遺伝子を考える 新島学園短期大学宗教学主任・准教授 山下 智子 ◎同窓生として見る世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』 42期 高橋 司

第48号 ◎新たなステージにおける新しい新島学園作りについて 学校法人新島学園理事長 湯浅 康毅 ◎「今、新島学園は、新島学園になっていますか!」 新島学園 中学校・高等学校校長 岩間 秀彬

第49号 ◎『平成の新島学園オートキャラバン隊』活動報告 学校法人新島学園理事長 湯浅 康毅 ◎「新島学園との出会い、それから」 元新島学園中学校・高等学校教師 小瀧 秀夫 (21期卒)

結果報告(敬称略)

Table with 3 columns: Rank, Name, and Score. Includes winners like 優勝 榊 研二 (35期) with score 69.6.



第39回同窓会 ゴルフ大会報告

■日時 2017年9月10日(日) ■会場 レイクウッドゴルフクラブ富岡コース(富岡市)

さる9月10日(日)、長年親しんだ地元安中市のローズベイカントリークラブ(※2016年9月閉場)を離れ、富岡市にある레이크ウッドゴルフクラブ富岡コースにおいて、残暑の暑さを感じる気持ち良い秋晴れの中、ゴルフ大会が開催されました。今年32期・38期の同窓生が幹事を担当し、幹事期の皆さまより積極的なお声掛けの結果、参加人数は164名(うち女子25名)と昨年一昨年同様、盛大なゴルフ大会となりました。表彰式パーティーでは、プレーから参加された静朋人同窓会副会長をはじめ、湯浅康毅理事長にもご出席を賜り、学園の近況などを交えたご挨拶をいただきました。また、幹事の円滑な進行の中、学年を超えた交流も多数見受けられました。幹事担当は33期・39期生の皆さまです。今年ご参加の皆さまはもとより、特に30・40・50期以降の若手の皆さまの積極的なご参加を期待しております。

新島学園 在校生・卒業生 頑張ろう!! 医療法人社団孝歯会 タカシデンタルクリニック 院長 高橋 孝 (28期) 〒107-0062 東京都港区南青山3-18-20-6F ☎ 03-5771-5807 FAX 03-5771-5807 http://www.takashi-dental.com

一人一人が明るく元気に楽しく輝く 前橋敷島南ライオンズクラブ 会長 湯本 直也 (28期) 〒371-0031 前橋市下小出町2-2-10 スカイハイツ2F ☎ 027-231-3738 FAX 027-232-4737

株式会社 関東培樹園 (造園設計施工管理、外構工事、植木、苗木販売) 小坂橋恵美子 (26期) 〒379-0143 安中市築瀬262 ☎ 027-385-6906 FAX 027-385-1300

萩原建設 株式会社 代表取締役 萩原 永史 (25期) 〒379-0104 安中市下秋間654 ☎ 027-381-2850 FAX 027-382-6411

# 2016年度同窓会決算報告

一般会計

## 2016年度 収支決算書

(2016.4.1~2017.3.31)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
前年度繰越金(1)	4,733,436	4,733,436	0	
同窓会費収入	2,140,000	2,140,000	0	10,000×214名(2016年度卒業生) 66期生
名簿代收収入	0	60,000	60,000	4,000円×15冊
利息収入	3,000	2,602	▲398	定期2,548円 普通54円
雑収入	260,000	280,000	20,000	根笹広告料・総会御祝
収入小計(2)	2,403,000	2,482,602	79,602	
収入合計(1)+(2)	7,136,436	7,216,038	79,602	

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
印刷費	10,000	30,240	20,240	同窓会報根笹印刷費
会議費	400,000	419,558	19,558	総会・役員会・講話会
事務費	120,000	107,305	▲12,695	コピーリース16,848円 使用料90,457円
消耗品費	20,000	2,261	▲17,739	ファイル代
遠征費補助金支出	400,000	240,000	▲160,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	350,000	250,000	▲100,000	各期同窓会13期分・地区根笹会補助4地区
旅費交通費	20,000	8,820	▲11,180	
通信費	150,000	123,075	▲26,925	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	250,000	247,644	▲2,356	ホームページ108,000円 根笹139,644円
同窓会主催事業費	200,000	236,200	36,200	ゴルフコンペ・コンサート協賛金
学園祭協賛金	0	0	0	
雑費	50,000	57,644	7,644	短大同窓会祝金・県下高校OBゴルフ等
予備費	30,000	0	▲30,000	
支出小計(4)	2,000,000	1,722,747	▲277,253	
当年度収支差額(2)-(4)	403,000	759,855	356,855	
次期繰越(5)	5,136,436	5,493,291	356,855	
支出合計(4)+(5)	7,136,436	7,216,038	79,602	

注：予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

一般会計

## 2017年度 収支予算書

(2017.4.1~2018.3.31)

(単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	増減	備考
前年度繰越金(1)	4,733,436	5,493,291	759,855	
同窓会費収入	2,140,000	2,150,000	10,000	10,000×215名(2017年度卒業生)
名簿代收収入	60,000	0	▲60,000	
利息収入	2,602	3,000	398	前年実績
雑収入	280,000	280,000	0	総会参加費・根笹広告料
収入小計(2)	2,482,602	2,433,000	▲49,602	
収入合計(1)+(2)	7,216,038	7,926,291	710,253	

支出

(単位：円)

科目	前年度決算額	予算額	増減	備考
印刷費	30,240	10,000	▲20,240	根笹印刷費
会議費	419,558	470,000	50,442	総会費・会議費
事務費	107,305	120,000	12,695	コピーリース料・使用料
消耗品費	2,261	10,000	7,739	
遠征費補助金支出	240,000	250,000	10,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	250,000	250,000	0	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	8,820	10,000	1,180	事務局関係旅費
通信費	123,075	150,000	26,925	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	247,644	250,000	2,356	ホームページ更新料・根笹作成料
同窓会主催・共催事業費	236,200	2,615,000	2,378,800	新島学園70周年記念事業費等
学園祭協賛金	0	300,000	300,000	
雑費	57,644	50,000	▲7,644	
予備費	0	30,000	30,000	
支出小計(4)	1,722,747	4,515,000	2,792,253	
当年度収支差額(2)-(4)	759,855	▲2,082,000	▲2,841,855	
次期繰越(5)	5,493,291	3,411,291	▲2,082,000	
支出合計(4)+(5)	7,216,038	7,926,291	710,253	

注：予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

収支決算 財産目録

(単位：円)

資産の部	決算額
現金	140,000
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	5,353,291
繰越金残高計(a)	5,493,291
固定性定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	17,493,291

根笹基金

## 2016年度 収支決算書 (2016.4.1~2017.3.31)

収入

(単位：円)

科目	決算額	備考
前年度繰越金	15,313,550	定期預金 15,000,000円 普通預金 313,550円
寄附金収入	160,000	ゴルフ大会
利息収入	3,183	定期預金利息 3,176円 普通預金利息 7円
雑収入	0	
収入小計(1)	163,183	
合計	15,476,733	

支出

(単位：円)

科目	決算額	備考
褒賞費	135,000	ギフトカード
ファイル代	80,640	ファイル代・賞状代
雑費	540	残高証明書
支出小計(2)	216,180	
当年度収支差額(1)-(2)	▲52,997	
次期繰越金	15,260,553	
支出合計	15,476,733	

予算案 財産目録

(単位：円)

資産の部	前年実績	予算額
現金	140,000	0
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	5,353,291	3,411,291
繰越金残高計(a)	5,493,291	3,411,291
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000	12,000,000
正味財産(a)+(b)	17,493,291	15,411,291

根笹基金 財産目録

資産の部

(単位：円)

普通預金 群馬銀行/安中支店 No.741658	260,553
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.378360	15,000,000
正味財産	15,260,553

### 株式会社 みなとや

代表取締役 田中 栄司 (32期)  
田中 大喜 (63期)

〒370-3342 高崎市下室田町1123

☎ 027-374-0122

FAX 027-374-1800

http://minato-8.com

### 株式会社 湯川工務店

代表取締役 湯川 嘉昭 (31期)  
湯川 恵子 (31期) 湯川 尚之 (32期)  
湯川 雅章 (60期) 湯川公美子 (61期)  
湯川菜緒子 (64期)

〒370-2452 富岡市一ノ宮1530

☎ 0274-62-2015

FAX 0274-64-3180

http://www.yukawa-act.jp

### 株式会社 石井設計

代表取締役 石井 繁紀 (31期)

〒371-0023

前橋市本町1-1-3 AMD本町2F

☎ 027-221-1717

FAX 027-221-3998

http://www.is-ishii.jp

### ヤマハ板鼻教室

田中 美香 (旧姓：大橋) (29期)

〒379-0116 安中市板鼻1-3-9

☎ 027-382-3462

FAX 027-382-7040

### 有限会社 高崎保安機材

代表取締役 陳 美穂 (旧姓：早川) (34期)

〒370-0883 高崎市剣崎町113

☎ 027-344-1811

FAX 027-344-0970

http://www.takasakihokanizai.com/

### 有限会社 池田組

代表取締役 池田 繁一 (34期)

〒370-0066 高崎市山田町63-2

☎ 027-323-2441

FAX 027-324-3583

### 佐藤産業 株式会社

代表取締役 佐藤 克佳 (33期)

〒370-2316 富岡市富岡1769

☎ 0274-62-3351

FAX 0274-62-3307

http://www.satohsangyo.co.jp/

### 舌切雀のお宿 磯部ガーデン

代表取締役 櫻井 太作 (38期)  
高橋 和之 (9期) 白田 薫 (27期)  
櫻井 尚子 (35期)

〒379-0127 安中市磯部1-12-5

☎ 027-385-0085

FAX 027-385-0055

http://www.isobesuzume.co.jp



2014年度 第23回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

Table with 5 columns: 名称(部活動名等), 学年, 氏名, 大会名, 種目・結果. Contains award details for high school students in 2014.

◆中学校の部

Table with 5 columns: 名称(部活動名等), 学年, 氏名, 大会名, 種目・結果. Contains award details for middle school students in 2014.

2015年度 第24回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

Table with 5 columns: 名称(部活動名等), 学年, 氏名, 大会名, 種目・結果. Contains award details for high school students in 2015.

◆中学校の部

Table with 5 columns: 名称(部活動名等), 学年, 氏名, 大会名, 種目・結果. Contains award details for middle school students in 2015.

株式会社 マエコム
代表取締役 前田 賢一 (37期)
〒371-0846 前橋市元総社町3-5-28
☎ 027-280-3240
FAX 027-251-7964
http://www.maecom.co.jp

アクア整骨院グループ
院長 湯浅 伸 (36期)
〒370-0833 高崎市新田町5-8
☎ 027-327-6133
FAX 027-327-6133
http://www.aqua-takasaki.com

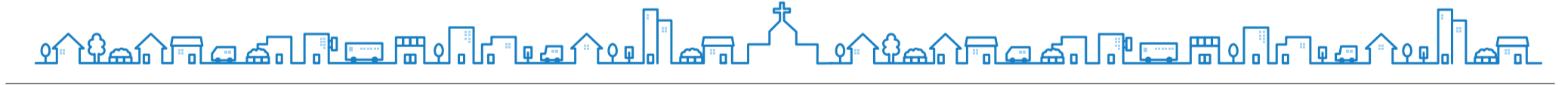
株式会社 金澤屋
代表取締役 本木 毅 (35期)
本木 孝雄 (3期)
本木 恵子 (30期)
本木 康子 (32期)
〒370-0813 高崎市本町65
☎ 027-322-3571
http://www.kanazawaya.ne.jp

村上司法書士事務所
代表 村上 貴幸 (35期)
〒370-0001 高崎市中尾町1262-8
☎ 027-361-6000
FAX 027-361-6003

2016年度 第25回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

Table with columns: 名称(部活動名等), 学年, 氏名, 大会名, 種目・結果. Includes categories for 高等学校の部 and 中学校の部.

「根笹賞」へ協賛のお願い
平成29年10月1日
新島学園同窓会
会長 立見賢治
1 根笹賞とは
新島学園建学の礎です。安中教会牧師 江川栄先生が安中を去る際に同窓会に寄付した金員と、同じく建学の当初より参加された教師石田愛先生と教師 岡部鎗三郎先生のご遺族からの御芳志を核として、母校の教育発展の一助のために卒業生を中心とした篤志家からの寄付金によって運営されております。
2 受賞資格
新島学園中学校・高等学校に在学する生徒のうち、当年度において顕著な功績を遺した生徒について行い、同一生徒であっても、その功績が認められた場合は重ねて受賞することができます。
①部活動の県、関東、全国の各大会において顕著な成績を残した団体・個人
②社会貢献や成績優秀など根笹賞にふさわしい活動と学校長などから推薦があった団体・個人
3 表彰
根笹賞の表彰は新島学園礼拝堂で行われる卒業式に於いて、表彰状及び副賞を授与します。
在校中は卒業式に於いて、表彰状及び副賞を授与します。
4 賞金・運営費
「根笹賞」の賞金や賞状、記念品などの運営費や同窓会報「根笹」の制作費や同窓会活動費にご協力していただければ幸いです。
詳しくは「新島学園同窓会」のホームページをご覧ください。



株式会社 ヤマハチクボニワ
代表取締役 久保庭 哲夫 (37期)
〒379-0116 安中市安中2-5-15
☎ 027-381-0435
FAX 027-382-6364
http://www.yamahachi.info/index.shtml

皆様のご活躍を心から応援致します
下城 株式会社
シロテックス 株式会社
代表取締役 下城 郁雄 (37期)
〒372-0812 伊勢崎市連取町1335-1
☎ 0270-24-1311
http://www.cirotex.co.jp/

国際警備 株式会社
代表取締役 山崎 健 (37期)
〒370-0046 高崎市江木町1525
☎ 027-327-5500
http://www.kokusai-security.com

株式会社 日本労務センター
代表取締役 山田 恵一 (37期)
〒370-0816 高崎市常盤町133
☎ 027-330-5557
FAX 027-330-6331
http://www.nihon-roumu.com

お菓子の家 あん
濱野あゆみ (40期)
濱野 悠 (68期)
濱野 凜 (70期)
〒379-0116 安中市安中2-14-13
☎ 027-382-0421

よろずや文具店
(株式会社 まるいち)
代表取締役 田口慎一郎 (38期)
〒370-2316 富岡市富岡1352
☎ 0274-64-4628
FAX 0274-63-1333
http://bungu.gunma.jp/

しののめ信用金庫
理事長 横山 慶一 (38期)
〒370-2316 富岡市富岡1123
☎ 0274-62-3111
FAX 0274-63-6086
http://www.shinonome-shinkin.jp/

祝 創立70周年
藤口光洋法律事務所
株式会社 ウイングギャレックス
株式会社 十一屋商店
株式会社 並木
株式会社 有田屋
株式会社 諸星建設